

保健便り



令和8年6月11日 飯山満中・保健室

学校管理下で怪我をしたら、医療費の給付が受けられます(加入者のみ)。詳しくは「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」で検索 又は 本校保健室へ

すいとう 水痘 (みずぼうそう) に、ご注意を！

船橋市保健所によると、船橋市は2026年第22週(5/25~5/31)の定点当たり水痘患者報告数が「2.00」となり、国の警報基準値である「2」に達し、**警報レベル**となりました。

「水痘(みずぼうそう)」は、水疱のある発疹が体じゅうに次々に出て、全身に広がる感染症です。その後、かさぶたとなり、先に出たものから治っていきます。口の中や頭部にもできます。かゆみが強く、ひっかくと化膿することがあります。38~39℃の発熱が1~3日位見られますが、微熱程度のこともあります。まれに脳炎などの合併症がみられます。9歳以下に多い感染症ですが、感染力がとても強いため、「もしかしたら?」と思ったら、早めに医師の診察を受けてください。

なお、水痘が治癒した後、ウイルスは長い間体の中の神経節にもぐり込み、病気などで抵抗力が弱くなった時や疲れた時、あるいは歳をとったことにより再び活動を始めることがあります。これが「帯状疱疹(たいじょうほうしん)」です。帯状疱疹の感染力は弱いですが、水痘にかかったことがない人に、まれに接触・飛沫感染することがあり、その場合は水痘を発症します。

感染予防は…

- 水痘は、空気・飛沫・接触感染でうつります。水泡中には多量のウイルスが存在し、感染力はとても強いです。潜伏期間は約2週間です。
- 石けんを使ったいいいな**手洗い**・こまめな**うがい**を心がけましょう。**咳エチケット**も大切です。
- 水痘ワクチンの**予防接種**があります。ワクチンの効果は高く、かかっても発疹の数が少なく、軽症ですむとされています。

こんなことにご注意を…

- はじめに、**小さな発疹**が出てきます。発熱があるときは、発熱とともに出現します。毎日の健康観察をお願いします。
- 規則正しい生活**をして、十分な**栄養と睡眠**をとるようにしましょう。
- 発熱があったら脱水に気をつけ、**水分**はこまめにとりましょう。
- 水痘は、感染する病気なので、医師の指示のもと「すべての発疹がかさぶたになるまで」出席停止扱いとなります。

本校生徒の実態

本校生徒の感染者数は、4月上旬から6月上旬までで5名以下と、少ない状況が続いています。感染力が強いため、水泡のある発疹がみられたら、学校を欠席するとともに医師の診察を受けましょう。

